



小金井 2012.7/1 No.411 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！僕・私。
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

成人学校

「アコースティック・ギター入門講座」 がスタート 貫井南分館



平成22年度から始まったこの講座、今年度で3回目となりました。既に6月1日から始まりました。応募数は定員15人のところ毎回2倍以上の方からいただいております。応募の年齢も10代から70代の方まで、幅広く異世代交流の場となりうる講座です。

講座の内容は、入門講座なのでドレミファソラシドで指の動きと弦の位置感覚に慣れることから始まり、左手はC、Am、Em等のコードを覚えて、右手はストローク、アルペジオの技法を練習します。ギターを過去にやったことがある方なら知っていると思いますが、少し難しいFのコードを押さえることにも挑戦します。

実はこのFを押さえることがギターの壁と言われるところで、何としてもクリアできるよう皆さん頑張っています。講座の最後には個々に選んだ課題曲を発表して終わりますが、皆さん詰まりながらも最後まで演奏していたことに感動を覚えました。

アコースティックギターって？

大きく分けるとフォークギターとクラシックギターになります。フォークギターの弦はスチール弦(鉄)、クラシックギターはナイロン弦を張ります。講座、自主サークル共にフォークギターで弾き語りを行っています。



フォークギター



クラシックギター

自主サークル「JULAN」ができた！

第1回目の講座から有志が「このままで終わるのは」と、サークルを立ち上げました。第2回目の受講生からも入り、段々とサークルとしての形になってきました。「JULAN (ジュラン)」とは、講師の鈴木伸浩さんの活動名から付けた名称です。メンバーは鈴木先生に来てもらって毎週の練習と個々にフォーク酒場(荻窪、武蔵境)でのライブ活動、また、先月5月13日(日)の貫井南センターまつりステージ部門に出演しました。講座の卒業生で構成しているのですが、無理せずぼちぼちやっています。



藤田和佳 (第1期卒業生)

ジュランは、フォークソングが大好きな人の集まりです。実のところ私はあまり聴いたことはありませんでしたが、今ではライブを行うまでになりました。

先日参加した貫井南センターまつりでは、全員で演奏を披露し沢山の方に元気がもらえたと言われ、とても嬉しかったです。このような経験、人々との出会いは、私にとって宝です。これからも練習を重ね、喜んでいただけるよう頑張りたいと思います。

佐治和雄 (第2期卒業生)

ジュランは70年代のフォークソングを主に演奏するギターサークルです。一人で弾き語り、二人でハーモニー、全員でパートを分担してアンサンブル。毎週金曜日の夜7時から9時の2時間は、刺激を受ける楽しいひとときです。

鈴木伸浩プロフィール

小学生の頃から吉田拓郎等に影響を受け、ギターを始める。高校在学中の頃から都内のライブハウスで演奏活動を始める。現在、自らのグループ「ラーメンカ・ハリケーン」でヴォーカル、ギター、ブルースハーブを担当。



募集

市民講座 「元気な小金井を明るくしよう」 本町分館

懐かしの歌声喫茶で一緒に歌いましょう。



- とき 7月12日(木) 午前10時～正午
 ところ 公民館本町分館
 講師 ささいはるみさん(歌唱指導)
 神野和博さん(アコーディオン奏者)
 対象 市内在住・在勤・在学の方
 定員 30人(申込順)
 参加費 350円(コーヒー・ケーキ代)
 申込 7月2日から、電話または直接、
 公民館本町分館(☎042-383-1170)へ。



募集

地域センター施設研究講座 準備会 本館

昨年度に続き、「地域センター施設研究講座」を開催します。昨年度は、講座参加市民が班にわかれて調査・研究をしていただき、最終日には環境、情報、世代を超えた居場所づくり、健康、市民の図書館などのテーマでプレゼンテーションをしていただきました。

本年度は、これを受けて新公民館での事業を考える講座を企画しました。公民館での活動に興味のある方、お待ちしております。

また、新しく企画実行委員になられる方にとっても研修としての意味をもたせた講座にする予定ですので奮ってご参加ください。



- とき 7月10日(火) 午前10時から～
 場所 公民館本館 資料室

申し込みの必要はありません、直接会場まで。

(仮称)貫井北町地域センター 実施設計概要版:

□(仮称)貫井北町地域センターの実実施設計について、市民検討委員会を開催して検討してまいりました。

この度、実施設計概要版が完成し、市のホームページから見る事ができますので、ぜひご覧ください。

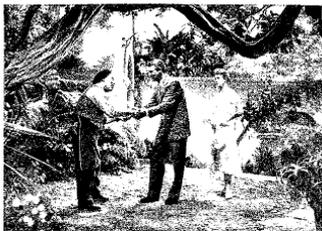


提供：前川建築設計事務所

第467回 市民映画会

「めぐり逢い」

(1957年、レオ・マツケリー、106分)



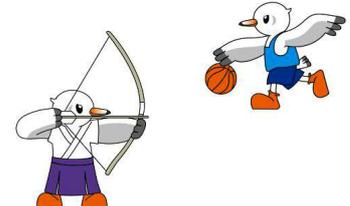
銀幕の黄金時代から半世紀。
あなたにとっての青春映画は何ですか。
7月の市民映画会では、1950年代のラブ・ロマンス「めぐり逢い」を上映します。主演は、ケーリー・グラント、デボラ・カー。あの、ヨーロッパに向かう豪華客船の映像をもう一度。

- とき 7月21日(土)
 ① 午前10時30分上映
 ② 午後3時30分上映
 ところ 公民館本館(福祉会館4階)
 入場 いずれも30分前開場 参加無料
 当日会場で先着70名。
 問合せ先 公民館本館(☎042-383-1184)

スポーツ祭東京2013

「スポーツ祭2013」とは、平成25年に東京都で、「第68回国民体育大会」と「第13回全国障害者スポーツ大会」を一つの祭典として開催するスポーツの大会です。公民館でもPRイベントとして平成24年度に講座・イベントを行う予定ですので、ご期待ください。

小金井市で開催される競技は【弓道・バスケットボール】の二種目です。



任期満了となる企画実行委員の皆さま

7月20日をもって第21期公民館企画実行委員9人の方が任期満了となります。公民館の活動を支えて下さった委員の皆さまから代表して6名の方から原稿を頂きました。

■第21期 本館企画実行委員

——好奇心こそは可能性の原点… 末包房子

小金井市独自の企画実行委員制度は、素晴らしい一言。公民館の講座は、職員と企画実行委員が共に知恵を出し合って実施する真正正銘の共同参画事業です。

委員就任以来、実り多い講座づくりを念頭に、社会的・地域的・心豊かに生きる等の課題を求めて走り続けてきました。自らが小さな専門家になるつもりで、地域の現況を知り、講座を通してそれらをどう耕し、どう対応するかという目標にもチャレンジしてきました。

市民参画の行動とは三かく（汗・字・恥）をしながら参加することです。好奇心はあらゆる可能性の原点と考え「果報は練って待つ」の心境で過せた幸せを、今改めて感じています。得難い人生経験でした。

長期間にわたってお世話になりました職員の方々と市民の皆さまに、心からお礼を申し上げます。

■第21期 本町分館企画実行委員

——貴重な体験が出来た6年間… 古川泰子

小金井市の公民館ってどのような活動が行われているのか興味があり、ある日、公民館の本館に立ち寄り、職員の方にいろいろとお話を伺いました。その中で企画実行委員制度の説明を受けながら委員のお誘いをいただきました。初めて聞く言葉に戸惑いと困惑を覚えながら後日ご返事することで帰りました。

一年目、二年目と分からないことばかりでしたが、職員の方々そして一緒に活動してきた企画実行委員の方々のご協力を得ながら無事三期六年を終えることができました。いろいろな分野での企画等貴重な体験をし、地域の皆さんと共に学ぶことができました。六年間大変楽しく過ごすことができ、心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。

——多くの皆様に支えられながら… 苅込美津代

企画実行委員の大先輩から企画実行委員を「やってみない」と声をかけられ、「やります」と即答しましたが、何も解らない状態からのスタートで、無我夢中で三期六年間社会教育の場である公民館の企画に携わり、微力ながらもお手伝いさせていただき、社会教育の大切さ素晴らしさ、重要性を改めて認識することができました。多くの皆様に支えられて貴重な体験をさせていただき、私自身にとって勉強になり、この六年間で得たあらゆることは、私の大切な財産となり感謝の気持ちで一杯です。

多くの皆様と出逢えたことにも大変感謝しております。市民の皆様が公民館を利用いただき、魅力ある講座にも参加していただけたら最高です。

今後の公民館の益々の発展と末永い存続を祈念させていただきます。大変お世話になりました。この場をお借りしまして心から御礼申し上げます。

■第21期 貫井南分館企画実行委員

——退任にあたって…

松浦妙子

「開かれた公民館」へのお手伝いをと企画実行委員を務めて五年がたち、このたび退任となりましたが、目標とした公民館にはなり得ていないようで改めて力不足を実感しております。また災害時における公民館の在り方も早急に検討しなければいけないのではと思っております。

知恵を絞って企画してもなかなか足を運んでもらえなかった事もありましたが、逆に倍以上の応募があり嬉しい悲鳴をあげたこともあり、いろいろな企画を通してたくさんの方々と接する機会に恵まれ、楽しく勉強させていただき感謝しております。

これからは、一地域住民として公民館に関わっていければと思っております。

第21期 東分館企画実行委員

——団塊世代も地域活動に…

椎野 稔

「いきいきと仲間作り」の理念に沿い、職場と家庭の往復の仕事人間であった団塊の世代の人達を公民館に呼び込もうと意気込んで、企画実行委員になって、三期六年、職員の方々、同僚企画実行委員の方々にも恵まれ、有意義な時間を過ごせたことに感謝しています。

男の人を中心にした講座、市内を目的を持って歩く野外講座、文化教養的な座学講座等、継続開催されています。

公民館は市民のものであり、誰もが気軽に立ち寄り、利用できる筈ですが、利用される方はさほど多くありません。また日中働いている方も増えたせいか、良いと思われる企画でも、参加者が少ない事がよくあります。開催曜日、時間、時期等、検討しながらいろいろな講座で公民館が地域の人に親しまれるようになることを願っています。

■第21期 緑分館企画実行委員

——企画実行委員を終えて…

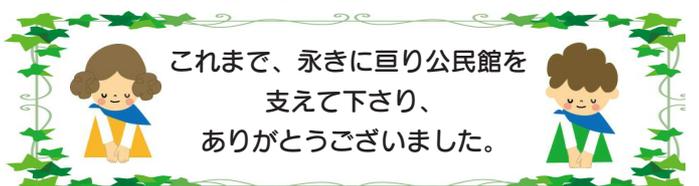
並木 節

長年オーディオビジュアルのエンジニアとしてやって参りました。技術屋は、無から有に変える職人であり、自分の技量が求められたり、必要だと言われてもらえたり、さらに世の中のためになっている実感です。

定年後はソフトダウンをしながら、培った技術を生かし、利害のない純粋で「一生懸命」夢中になれる歌のサークルを発足し、地域の高齢者と緑分館を拠点に活動をしていたところ、当時の館長から企画実行委員の話があり、慎重に考えお受け致しました。

初年度は前任者の企画に基づいて行いましたが、2年目からは企画に参画し、心に残る「音楽鑑賞のつどい」では、直接人気若手アーティストに働きかけ、クラシック&ポップスのコンサート2回公演を実現し、また、好評だった歌の講座も、自主サークルへと発展させ、多くの人に喜ばれ、さわやかな達成感と、貴重な経験をさせて頂きました。職員の皆様には様々な場面でご指導を頂き、無事任期を終える事ができました。

6年間有難うございました。



これまで、永きに亘り公民館を支えて下さり、ありがとうございました。

◆ 7月の公民館主催事業募集情報 ◆

詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、(1日は東分館休み)各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
	☆市民講座 「元氣な歌声で小金井を 明るくしよう」 市報7月1日号に詳細			

成人学校

「むかしみちを歩く～五日市憲法を探訪」報告



深沢家土蔵

東分館では5月12日に「むかしみちを歩く～五日市憲法を探訪」を開催しました。当日は天候にも恵まれ、15名の参加者が集まりました。最初に訪れたのは五日市憲法が発見された「深沢家土蔵」です。五日市憲法とは明治時代初期につくられた私擬憲法の一つで、別名を日本帝国憲法と言います。204条からなりそのうち105条を基本的人権について触れ、現在の日本国憲法に引けをとらない内容と言われています。

その後東京一大きい檜の木を見学し、あじさい山を通り、金毘羅山で食事をとりました。午後、星竹林道を散策し秋川溪谷瀬音の湯にて足湯、



山抱きの檜の木

買い物を行い、バスで東分館に戻り本日の行程は終了となりました。途中こんにやく屋さんや五日市郷土館にも寄りました。

あきる野市民解説員の坂野紀世子さんの案内のもと、あきる野市の自然と歴史を満喫した一日でした。



当日のルート

東分館→武蔵五日市駅→深沢家土蔵→檜の木→あじさい山→金毘羅山(休憩・昼食)→星竹林道→瀬音の湯→五日市郷土資料館→東分館

心に残った一冊

「センス・オブ・ワンダー」

レイチェル・カーソン／上遠恵子訳 佑学社

『センス・オブ・ワンダー』はアメリカの海洋生物学者レイチェル・カーソンが病に侵されて旅立ちが近いと知って、最後の仕事として残した遺言とも言われている。

子どもの世界は本来、生き生きとして驚きと感激の心に満ち溢れているが、この「センス・オブ・ワンダー＝神秘さや不思議さに目を見はる感性」を持ち続けるためには、周りの大人の協力が必要。自然のしくみ、生命の輝きへの感嘆を分かち合ってくれる人が少なくとも一人は子どもの傍に在るべきとレイチェルは語っている。

それは難しいこと？ いいえ、大人が子どもと共に自然の不思議に畏敬、賛嘆の気持を持つこと。例えば明かりを消した居間の窓から、大空を動いて行く月を子どもと眺める、或いは夜明けの小鳥のコーラスをいっしょに聞く、風の音に耳を傾ける……。

実際に姪の息子のロジャーを毛布にくるみ、雨の降る暗闇の中を海岸におりたりしたなどの沢山の体験が元になっている。二人は嵐の日も穏やかな日も夜も昼も自然探検に出かけた。

同一著者による『沈黙の春』は当時のケネディ大統領をも動かし、農薬などによる最悪の環境破壊を免れるのに大いに貢献したが、化学物質による汚染は今も続いている。

一方、放射線の生命への影響は計り知れないほど大きく、制御や廃棄処理など、問題が多い中で数を増やし続けている原発、そして核兵器、このままでは【沈黙の春】が現実となる恐れがあると心配される。新エネルギーへの方向転換の動きはあるが、なぜこうなったか、もう一度振り返ってみることが根本的な解決を生むであろう。

大地に触れて遊ぶ時間の少ない、追い立てられるような日々を過ごす子が年々増えてきている。

『センス・オブ・ワンダー』は世界の多くの人に共感の気持ちで迎えられた。だが同感しても、実行する人は限られ、今日に到った。

幼子の感性に期待したレイチェルの遺志を受け継ぐのは回り道かもしれないが、生命に満ち満ちている世界を幻にしないための確実な方法であると、強く感じている。

かがくろぶコスモ・こごうちぶんこーことりのへや 平井崇子さん

編集後記

早いもので、今年ももうすぐ、子ども達が待ちに待った楽しい夏休み、旅行にプール、海そして山、キャンプにとワクワクしている子どもたちの姿が自分の幼少時と重なり、目に浮かびます。

公民館では今月、全館で9人の公民館事業に永い間尽力され、数々の講座の思い出を残して、任期満了で退任される企画実行委員の方がいらっしゃいます。9人の方々、大変お疲れ様でした。今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。(T)